

2021年9月1日
 発行/日本共産党市川市議団地域版
 自宅/市川市須和田2-12-3
 fax 047-705-6018
 携帯 090-6310-3294
 メールアドレス
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.140

命を守るコロナ感染対策 大規模検査すすめる「千葉方式」を



新型コロナウイルス感染者の数が爆発的な状況です。市議団と地区委員会は、8月19日、市川市に「コロナ感染爆発を抑え込むための緊急要請」を行いました。対応したのは、大津副市長。浅野ふみ子5区予定候補も同席しました。

県委員会と県議団は県知事に「千葉方式」を提言

「千葉方式」とは、無症状感染者の発見と保護へ、大規模検査をすすめるものです。政府分科会の尾身会長は、「ちよつとでも具合の悪い人、感

染の心配のある人は、職場であろうが、地域であろうが、どこでも気軽に検査できる体制をやっていただきたい」との注目すべき発言をしています。全国知事会の緊急提言でも、無症状者に焦点をあてた幅広いPCR検査等について「感染拡大の未然防止を図る観点から有効と考えられるため、行政検査として位置づける」よう提言しています。

市への要請

①自宅療養者を基本的になくすこと
 (市から)
 自宅療養者が約650人、ホテル療養が20人。
 (18日現在)しかし、居住地などのはの県からの情報がない。

②自宅療養者への食料品・日用品の配布をきちんと行うこと。
 (市から)

(市から)

感染者から市に連絡があれば届けている。連絡がなければ届けられない
 ③全世代を対象としたワクチン接種と大規模なPCR検査体制の確立、変異株検査を大幅に拡充すること。

④業者が営業を継続できる十分な補償と減収による生活困窮者への支援を拡充すること。
 (市から)

中小法人等事業継続支援金制度を周知していく
 ⑤パラリンピックへの児童観戦は中止すること。
 (市から)

1校のみ、計画している、児童、保護者に確認している。

消防局より、搬送困難事例数

新型コロナウイルス疑いで、搬送が困難事例数(病院への連絡が4回以上、30分以上車内待機)
 令和2年4月(1件)令和3年2月(8件)3月(2件)4月(3件)5月(5件)7月(8件)

8月(32件)。8月は急激に増えています。

市のコロナ関連補正予算

●ワクチン接種体制の強化(11億9千万円)

●グループ接種(バス利用)を開始

●対象者に12歳から15歳を追加

●集団接種会場として市川グランドホテルを活用

●生活困窮世帯の自立支援(3億7千万円)

●緊急小口資金を利用できない世帯、一定の要件を満たす世帯

●単身世帯(月6万円)

●2人世帯(月8万円)

●3人以上世帯(10万円)

●新型コロナウイルスの影響を受け、売上げが減少している中小法人等への支援(3億4千万円)

●市内中小法人等1200件(個人事業主、NPO法人、社会福祉法人等を含む)

●給付額 最大25万円
 (一律月・5万円×最大5ヶ月)

